

令和8年度 第1回軽井沢町学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和8年6月25日（木） 11時20分～12時30分  
(授業等見学：10時45分～11時15分)
2. 開催場所 軽井沢西部小学校 会議室
3. 出席者 委員等：松村委員、松葉委員、倉坪委員、牧山委員、栗岩委員  
土屋(栄)委員、土屋(次)委員、松平委員、福原委員、  
土屋(裕)委員、森委員  
軽井沢東部小学校 田中校長、軽井沢中部小学校 金山校長、  
軽井沢西部小学校 久保校長、軽井沢中学校 山崎校長  
事務局：こども教育課学校教育係 柳澤係長、柳原、木島
4. 議 題
  - (1) 各学校経営方針について
  - (2) 学校が求める地域との関り、地域ができる学校との関わりについて
5. その他
6. 閉会

## 議事内容

### 1. 開会

#### 【事務局】

ただいまより令和8年度第1回軽井沢町学校運営協議会を開催いたします。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。授業見学をしていただいた委員の方にはアンケートをお配りしています。こちらのアンケートは会議終了後に回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

### 2. 委員の紹介

#### 【事務局】

今年度最初の会議ですので、自己紹介をしていただければと思います。それでは、順番にお願いいたします。

#### <委員及び事務局 自己紹介>

ありがとうございました。では次第に沿って進めさせていただきます。

### 3. 会長・副会長の選出

#### 【事務局】

それでは次第の3、会長・副会長の選出に移らせていただきます。軽井沢町学校運営協議会規則第7条により、協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任すると規定されております。委員の中から選任をお願いしたいと思いますが、どなたか推薦いただける方はいますでしょうか。

ないようであれば事務局案としまして、会長を〇〇委員に、副会長を△△委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしければ拍手をお願いします。

#### <拍手>

ありがとうございました。拍手多数ということで、会長は〇〇委員に、また、副会長は△△委員にお願いしたいと思います。それでは、この後の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。

### 4. 議題

#### 【会長】

改めまして、皆さんこんにちは。事務局より推薦をいただきましたので会長を務めさ

させていただきます。学校の皆さんと地域の皆さんの意見の交換の場となるよう努めてまいります。それでは、これより議事に移らせていただきます。

(1) 各学校経営方針について、各校長先生からご説明していただければと思います。質疑については、すべての学校が終わってから行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、中学校からお願いいたします。

#### 【軽井沢中学校長】

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。本校のグランドデザインをご覧ください。学校教育目標、重点目標につきましては、お示しのとおりです。

重点活動として4つ挙げさせていただきました。「あいさつ」「清掃」「合唱」「自ら学ぶ、友と学ぶ」です。特に「あいさつ」「清掃」については、生徒会の活動を中心に充実させているところです。「自ら学ぶ、友と学ぶ」については、学ぶ力を高めるということで6項目挙げています。中でも「友と共に学びを深める授業 生徒が自走、教師が伴走する学び」ということで、「子どもたちが主体的に学ぶ」というような授業を今年度構築できたらいいなと思っています。ただ子どもたちに任せるのではなく、自分たちで考え、学び、先生方が見守り、授業終わりに子どもたちの振り返りを見届け、フィードバックをし次の学習につなげていく、そのような活動ができたらいいなと思っています。

軽井沢学に関しては、昨年度までは学年全体での活動でしたが、小さい単位のほうが良いということで、1年生については学級単位で総合の授業を始めました。「探求のスパイラル」ということで、課題の抽出から始まり、調査したり、発表したりというように学習を進めていけたらと思っています。また、地域の方々へのアウトプット（発表の場）を今年度は多く設けられたらいいなと思っています。

生徒理解・生徒指導・学級指導については、令和9年度に軽井沢中学校の分校である軽井沢オーブンドアスクールが開校しますが、小中学校は子どもたちにとって「居心地の良い学校でなければならない」というコンセプトをもとに、子どもたちが自分たちの学校をよりよくしていく取り組みを現在進めているところです。その中で昨年度から行っている「よりみちカフェ」に多くの方が参加いただきながら交流できたかなと思います。このような交流の場を子どもたちの学習へとつなげていけるといいなと思っています。

今年度は残り3回計画していますので、地域の方々に来ていただき交流を通して学

び、発展的な学習につなげられればいいなと思います。また、学校だけでは難しいので、地域コーディネーターとして藤城新聞店の西村さんに地域と学校をつなげてもらう役をお願いしています。行政側には軽井沢高校教育魅力化推進係の金井係長をお願いして、学校と行政をつなぐ役を担っていただいています。本日のテーマである地域との関りということを今後も中学校では大事にしていきたいと考えています。以上です。

#### 【軽井沢東部小学校長】

学校教育目標「風土に恥じない 爽やかな人になれ やさしく かしく たくましく」ということで、昨年度と同じ学校教育目標を掲げています。その中で「自分でつくる みんなでつくる わたしたちの学校」ということを重点的に行っていきます。つけない力として3点、「自らコントロールする力」、「他者とつながる力」、「新しいものを創り出す力」ということで、3つのつけない力を設定しています。中でも他者とつながる力を大事にしていきたいと考えています。また、その過程で自らをコントロールする力「調整力」も身につけてほしいと思っています。これらをどのように育てていくかということで、異年齢交流（縦のつながりの充実）、対話、アウトプット（横のつながりの充実）この3つの柱を軸にしていこうと思います。東部小学校は人数が少ないので、児童会活動では縦（異年齢）の活動を多く取り入れています。このことは、全ての子どもがそれぞれのグループで力を示していくことにつながっています。グループで出た課題を学年に持ち帰って話し合い、次につなげていくという風に縦のかかわりから横のつながりへ展開できるといいなと思っています。

授業づくりについては、自分の考えを持ち、自ら行動・発信できる子、仲間の考えの違いを聞き取って、自分の考えをしっかりと広げていくということを育てていきたいです。今年度 NIE という新聞を取り入れた授業に取り組んでいます。新聞を使い広く地域のこと、世界のことを学び、自分の考えをアウトプットすることにつなげていきたいです。

子どもたちには与えられた情報だけでなく、人から学ぶということも意識していけたらと思います。以上です。

#### 【軽井沢中部小学校長】

グランドデザインを説明させていただきます。重点に「安心を土台に自分らしく挑戦する子 一人一人のウェルビーイングの実現のために」と記載しています。重点目標になるということは実現できていないということ、課題であるということです。校長として大切にしたいことは主に3点あります。「子どもは子どもの姿から学んでいく」「子どもが自分の強みと弱みを理解する」「子どもが自分の能力を試し、自分の限界を広げて

いく」の3点です。学びの場を多様化することで子どもたちが輝ける学習場面を増やしていきたいなと思っています。また、子どもの意思を尊重する、自立心を育み、自身で決める経験の数を増やしていきたいです。さらに周囲との関りということで、前向きな大人の声掛けや友達との関り、学校に来る価値を見出していきたいと思っています。

本校は今年度新しい学校の形として40分授業で午前5時間制を導入していきます。単に授業時間を短くするのではなく、清掃の後に学校裁量の20分間の授業の枠組みがあります。先生方の取り組み方次第で新しい授業が出てくるのではないかなと思っています。

「虹のサークル」という縦割り班の活動を実現しています。運動会でも紅白ではなく虹サークルで集まりスタートしました。異年齢集団で混ざり合って意見交換をすることで多様な学びの場にもつなげていきたいなと考えています。

「ちゅうぶに夢中！(LIVE)」について、子どもたち全員参加ではなく、やりたい子が休み時間に自分がやりたいことを企画して運営するということを始めてみたいと思っています。アウトプットの場として地域の方にも見に来ていただけるといいかなと思っています。授業で扱うと強制的に全員参加しなくてはいけませんが、休み時間を利用するため、「やりたい子がやる」という取り組みになります。休み時間のため20分ですが、地域の方にもぜひ見に来ていただける機会にしていきたいと思っています。

#### 【軽井沢西部小学校長】

軽井沢西部小学校ですが、学校教育目標は「じぶんでかんがえ みんなでつくる」で、合意形成が大切だなととらえています。昨年も同じことを言いましたが、全国学力・学習状況調査中に児童生徒質問紙というのがあります。その中で、「学校に行くのが楽しい」という質問があり、本校はここ数年、「そう思う」という子が全国や県平均に比べてやや低いという状況です。一見楽しそうに学校生活を送っている子も、その問いに完全な肯定で答える子は割と少ない状況です。みんなが安心して過ごせる空間ということが根本にあって、それが大事なのかなと思っています。

昨年度に引き続き「共生」に焦点を当てて先生方と取り組んでいます。他者意識と対等性と対話を大切に、相手の気持ちを理解すること、合意形成を意識しています。本日、6年生のクラスを見学してもらいましたが、完璧ではないけれど6年生のような姿を目指していきたいなと思っています。キャンプへ行った際も、子どもたちだけでレクリエーションについてよかった点、悪かった点について話し合い、もう1回同じレクリ

エーションを行い、みんなで満足している姿を見て、そのような姿をどんどん増やしていきたいなと感じました。以上です。

#### 【会長】

ありがとうございました。それぞれの学校のグランドデザインを説明していただきましたが、それについてご意見ご質問等ありますか。ないようですので、次に進めます。

次に学校が求める地域との関りについて、各学校の現状と今後の展望をお話しいただければと思います。課題解決ではなく、意見やアイディアを出していただいて意見交換の場と出来たらいいなと思いますのでお願いします。中学校からお願いします。

#### 【軽井沢中学校長】

部活動の地域移行、地域展開のところで、部活動の指導者がいるといいなと感じています。また、地域との交流が学びに結びつくような形になっていけばいいなと思います。具体的には、生徒がやってみたいと言ったときにそこから学習に展開できればいいなと思い、「よりみちカフェ」を起点にしていきたいなと思っています。ぜひ交流の場として、地域の方がたくさん来ていただければいいなと思います。以上です。

#### 【軽井沢東部小学校長】

地域との関わりについてということで、毎日見守り隊の方々に朝夕と子どもたちの登下校を見守っていただけるということがとても大きいです。

今年度運動会で地域の踊りを実施するというので、学校から保護者、当日の来賓の方へ展開して一緒に輪になって踊ることができました。東部小は人数が少ないので、学校側から地域の方に相談を持ち掛けたときに、相談に乗っていただけるという体制が非常にありがたいなと思っています。また地域の方と顔がつながる形で関係性を作ってきたいなと感じていますので、ご協力いただけたらありがたいです。

#### 【軽井沢中部小学校長】

軽井沢全体ですが、勤務されている先生方が若いので、地域の方に「こんな生き方があるよ」「こんな仕事があるよ」と子どもたちに教えてあげてほしいと思います。あるいは、表現コミュニケーションを通して「人とつながることって素晴らしい」ということを子どもたちに伝えてもらいたいと思います。そこから先生方も学ぶことがあるだろ

うし、相乗効果を期待しています。

学校は、文部科学省から示されている学習指導要領をやることでいっぱいになります。新たな時間割で生まれる学校裁量の時間を使い、多様な生き方、多様な学びを教えるチャンスに変えていきたいと思っています。その所で地域の方にはアイデアをいただけるとありがたいです。

#### 【軽井沢西部小学校長】

「子どもたちと一緒に育てていく」ということを再確認していきたいなと思っています。先日の西部小を語る会の中で、「挨拶していこうよ」という話が出ました。今の時代挨拶をすると不審がられてしまうこともあります。普段生活していく中で挨拶は自然なことです。普通のことを普通にして一緒に子どもを育てていこうということを改めて再確認しました。

また、昨年度から八風山サークルを保護者の方たちが発足し、準備の段階から保護者と子どもたちと一緒に取り組んでいく、参加していくことをやっています。サークルのチラシに「子どもたちが将来自分自身に誇りを持てる、そのような行事と一緒に作りませんか」というようなキャッチフレーズが書かれていてとてもいいなと思い、今年度も一緒に作っていく、育てていくというところに重点を置いて取り組んでいこうと思います。以上です。

#### 【会長】

各校長先生ありがとうございました。委員さんから今後地域ができる学校との関わりについてご意見やアイデア等ありましたら出していただければと思います。

#### 【A委員】

地域ができる学校との関わりとありますが、地域の皆さんがどの程度学校の行事を知っているのかなと疑問に感じました。軽井沢町は学校運営協議会として4校合わせた協議会になりましたが、各学校単位で地域と学校を結ぶような組織を1つ設けると、地域の区長やボランティア、PTAが動きやすいのかなと思います。地域の見守りにしても、子どもの顔を知らないとなんな子が地域にいるのかわからないので、顔が分かる関係性が構築できればいいなと思います。

#### 【B委員】

私は東部小学校の地区ですが、各学校の運動会や授業参観等、学校に行って先生方とお話できる関係、小さい組織のほうが自分たちの声を反映していただきやすかった印象です。この運営委員会もいいですが、また各校で評議員としてやっていた時のように戻してもいいのかなと思います。

#### 【C委員】

自分の子どもたちが関わっているときは行事なども把握できますが、離れてしまうと情報が入ってこないなので、今年は運動会も行けませんでしたB委員が言うように前の評議員のような学校単位のほうが声は届きやすかったかなと感じます。場所の問題や人数の問題など様々あるのかもしれませんが、この協議会を残しつつ、前のような形も復活してもいいのではないかと思います。

#### 【会長】

ありがとうございます。関連したことでも、違う角度からでも他にございますか。

#### 【D委員】

情報共有をさせていただきます。行政の立場ですが、新庁舎の計画をしている中で中高生の居場所がないという意見をたくさんいただいています。今できることとして中高生の居場所をつくろうと6月30日から週3日、中央公民館の会議室を開放する取り組みを行います。勉強やおしゃべり、バスの待ち時間を友達と過ごすでもなんでもありです。そこから何か仕掛けるということはまだ決まっていますが、まずは場所を提供し、地域コーディネーターの方に入ってもらふこと等、そこから発展していければいいなと思っています。

#### 【E委員】

児童館は幼児や小学校の放課後子ども教室の利用がほとんどですが、18歳までが利用できる施設ということで子どもの居場所としてありますので改めて情報共有させていただきます。

**【会長】**

そろそろ時間の都合もありますので閉じさせていただきます。今回出された意見を子どもを含め地域、教育委員会で連携してサポートしていけるように会議を重ねていければいいと思います。以上で議題は終わりにさせていただきますので、事務局にお返しします。

5. その他

**【F 委員】**

軽井沢青年会議所主体で「ビジネスプランコンテスト」というものを10月に軽井沢町中央公民館で開催します。地域の中高生がこんなことをやりたいと考えているんだなと、地域の方にも見守っていただけたらと思いますので共有させていただきます。

6. 閉会

**【事務局】**

会長ありがとうございました。長時間にわたりありがとうございました。  
それでは以上を持ちまして、令和8年度第1回軽井沢町学校運営協議会を終了いたします。